

市川房枝生誕130年を前に

権利の上に眠るな

～普選、婦選、そして18歳～

奥山 眞佐子



いちまるよん

市川房枝 生誕130年を前に

権利の上に眠るな

～普選、婦選、そして18歳～

著者：奥山眞佐子

発行所：いちまるよん有限会社

横浜市神奈川区台町11-25-203

TEL：045-290-5877

FAX：0467-24-1900

メール：info@okuyama104.com

定価：2,000円+税



婦選

表紙カバー画：ひらたやすひこ

子どもたちの学ぶ権利、生きる権利のために、宮城まり子氏が1968年に設立した日本最初の肢体不自由児養護施設「ねむの木学園」の画集『ねむの木学園こども美術館』に収められている作品より

｜ねむの木学園｜ねむの木村｜

｜静岡県掛川市｜

nemunoki.or.jp



本文には、
公益財団法人 市川房枝記念会女性と政治センターよりお借りした貴重な写真が数多く掲載されています。
センター内の展示室では、市川房枝の素顔や日本の女性参政権運動史を体感することができます。
映像と晩年の居室を再現したコーナーもあり、小・中・高校生の課外学習にもお勧めです。こちらで本をお求めいただくこともできます。

公益財団法人 市川房枝記念会
女性と政治センター

ichikawa-fusae.or.jp

⇄…二幕…⇄

市川

快諾してくれました。
この申し入れが、幣原喜重郎内閣の初閣議の10月10日、堀切善次郎内相によって提案され、そして可決したのです。
婦人参政権が決定したんです。
やっとな日本の女性は、政治に参加する権利を手に入れたんです。

時代の声（1946（昭和21）年4月10日衆議院総選挙）

市川

このとき、女性の立候補者は79名、うち39名が、当選を果たしました。女性有権者数は約200万人、投票率は67%。

岡村

投票の日、市川先生はどんなお気持ちで……。

市川

選挙人名簿の記載漏れで投票できませんでした。



1946年4月10日
女性初参政権施行の投票風景

知って
欲しいこと

126,226,568人 (総人口)
- 101,236,029人 (有権者)
= 24,990,539人 (選挙権を持たない人)

選挙権を持たない**24,990,539人**とこれから生まれる子どもの**将来**は、
現在選挙権を持っている**101,236,029人**の投票で決められるのです。
選挙の一票は、選挙権を持つ人【ひとり】だけのものではないのです。

* * * * *

知って
欲しいこと

しかし、2021年10月の第49回衆議院議員(総)選挙の投票率は、
10代 43.2%、20代 36.5%、30代 47.1%、全年代 55%
2022年7月の第26回参議院議員選挙では、
10代 35.4%、20代 33.9%、30代 44.8%、全年代 52%
(総務省発表の国政選挙投票率)

つまり概ね53.5%で計算すると、投票した**約5416万人**の意見で、
1億2623万人の生活が決められているのです。

* * * * *

知って
欲しいこと

1878(明治11)年「女ヤキ投票でキンラアテおかしいやありませんか」と高知県の楠瀬喜多氏は訴え、金子みすゞ氏が自殺した1930(昭和5)年、市川房枝氏、村岡花子氏、久布白落実氏、与謝野晶子氏、平塚らいてう氏らは、婦人(女性)参政権を獲得するための全国大会を開催。ピラ配り署名活動など、あらゆる方法で訴え続け、第二次世界大戦終結後9月11日「戦後対策婦人委員会申し合わせ案」を政府に申し入れました。
その結果、1945(昭和20)年10月10日幣原喜重郎内閣の初閣議で婦人(女性)参政権が決定したのです。
現在の日本国憲法に「すべての国民は、法の下に平等」と記されているのも、**女性が政治に参加する権利を得られたのも先人の努力によるものです。ですから「今がある」のです。**

「権利の上に眠るな」

～市川房枝と婦選運動の歩みをなぜいま舞台化するのか～ 大森真紀
| 論座 | 朝日新聞社の言論サイト (asahi.com)

◆ 著者・奥山眞佐子

樋口一葉小説をひとり芝居で演じ続けて27年。(三越劇場連続公演14年目)
NHK連続テレビ小説「花子とアン」山梨ことば指導担当にあたり村岡花子氏の活動を深く学ぶ。
一葉作「十三夜」の主人公が「夫の機嫌を整えるのが妻の務めなり」と耐え忍んだ大日本帝国憲法時代に誕生した村岡氏と同年齢の市川房枝氏をはじめ、**女のくせ**にと抑圧される社会の中で「男女平等の権利、平等の参政権」を求め続けた多くの人々のことを伝えたいと、書籍と同名の脚本を執筆し新宿紀伊屋ホールで上演。(市川房枝役で出演) 大入り大好評を得ての出版となる。

参政権をもつもののすべてに、
平和で平等な社会をつくる義務と責任がある

と語った市川房枝氏の女性参政権獲得までの歴史を伝えたい。(俳優・奥山眞佐子)



masako

「樋口一葉ひとり芝居・27年」「花子とアン」山梨ことば指導担当の
奥山が、村岡花子氏ご尽力【女性参政権】の歴史書を出版しました。

お申込み

☆ FAX : 0467-24-1900 (いちまるよん有限会社)
☆ メール : info@okuyama104.com

お名前		
ご住所	〒 _____	
お電話	(_____) - (_____) - (_____)	
	【権利の上に眠るな ~普選、婦選、そして18歳~】	_____冊



定価2,750円(本体2,500円+税10%)

渾身の750頁

江戸時代260余年、
平和な世の礎は、
甲州流にあった。

紺碧の将

高久 多樂 Takaku Taraku

「得か損か」「合理的かどうか」
「便利か不便か」「早いか遅いか」
を超えた生き方を問う

玄侑宗久 (芥川賞作家・禅僧)

現代に通じる組織論や死生観、家族観が込められた歴史小説。
生き続けた信玄という企ても、時に史実かと錯覚するほど、うまく史実に溶け込ませてあり、家康の魅力を引き出している。
遠大な構想と「一隅」を見つめる精緻な眼が、現代へのメッセージに満ちた快作として結晶した。

信玄と 家康の 関ヶ原

謎の医法師によって仮死状態にされ、上杉家に預けられる武田信玄。
11年後、目覚めた信玄と家康の白熱の問答によって江戸の平和国家構想を詳らかにする。比叡山焼き討ちによって妻と娘を失った父子と上杉景勝が選んだ生き方とは、いかなるものか。

「さあ、この国の未来図を描いてみる」

コンパス・ポイントからのご購入はこちら→



アマゾンからのご購入はこちら→

